

平成 25 年 夏 地域訓練協議会で出された主な意見

1. コース、分野ごとの訓練設定に係る意見

- ・ 基礎コースが本当に機能しているかはもう少し実体面をしっかりと分析すべきではないか。
- ・ 基礎コースではビジネスパソコンでも「初めての」や「初心者からの」と銘打ったコースが集まりやすい。
- ・ 学卒未就職者コースはキャリア教育、キャリア形成という観点で学校等関係者がもっと強い連携をもって、選択肢の一つとして学生に提案していくような形をとるべきではないか。
- ・ 中止になったコースについては開講時期、場所、募集期間の長短以外の要因も分析すべきではないか。

(建設分野)

- ・ 製造業、建設業は重点分野とすべきではないか。特に建設業について現場の需要が高い。
- ・ 建設業関係では型枠工、鉄筋工、大工、左官が足りないが、訓練実施機関の確保が難しい。

(事務分野)

- ・ 事務職においては零細企業ではオールマイティな事務職の需要が依然として高い。ワード・エクセルが使えるだけでなく気配りができる、業務の事も分かっている、多能工的な総合的な能力が求められている。

(介護分野)

- ・ 特に介護分野などでは実習があり、現場での経験が出来て良かったという評価。採用企業からの情報収集が訓練の質の向上に役立つのではないか。
- ・ 実務者研修は事業者としてハードルが高く、なかなか対応できるクラスを用意できていないという状況。

(情報分野)

- ・ 情報系で即戦力であれば1年くらいの職業訓練が必要。
- ・ ITは成長産業の一つだが、プログラマー等は高度な知識・技能を要し、その前提の知識等がないと受講は難しい。正社員を辞めた雇用保険受給者などにはニーズはあっても、失業期間が長いような人はIT訓練は難しいのではないか。
- ・ VBAプログラミング実践科など3ヶ月で行うのは無理。ワード・エクセルといった基礎的なコースの方が良い。
- ・ アンドロイドやVBAなど都市部では人気があっても地方では中止となっているなど

地域差もあるのではないか。

(その他)

- ・ ネイリストなどは比較的人気があるが求人は少なく、受講者のニーズと就職先の確保のバランスが良くないものも見受けられる。

2. 地域特性を踏まえた訓練設定について

- ・ 家具の街である当該地域においては木工職人が不足している。地域に密着した訓練の設定を。
- ・ 農業系の訓練が新たに設定されたが、地域の特性を踏まえた訓練の設定を進めて欲しい。
- ・ ものづくり県として特色が出せるような訓練の設定をお願いしたい。

3. 受講者属性等を踏まえた訓練設定について

- ・ 高齢者を対象とした訓練コースの設定も有効ではないか。
- ・ 母子家庭の受講率が低いと聞いており、安心して受講できる仕組みを整えて欲しい(家族の介護、看護などの理由の場合の証明書に係る弾力的な運用など)。
- ・ IT関係は若い人材へのニーズが高いたらうし、年代別にきめ細かな対応が必要ではないか。

4. 制度の見直しについて

- ・ 過去に訓練の実績がないと訓練コースの認定が出来ないが、要件の一層の緩和が必要。
- ・ 就職活動を行うと「欠席」となる取扱いは制度上矛盾を感じる。
- ・ 応募者が伸びないのは出席要件の厳しさが応募を躊躇させているのではないか。
- ・ 安心して訓練受講が出来るよう給付金の要件緩和を検討して欲しい。

5. 制度の周知について

- ・ ハローワークに来所しない者に対する制度周知が必要。タウン誌やフリーペーパーの活用などが必要ではないか。
- ・ これからの可能性のある高校生や学生など若者にも理解をひろげていくということも必要。周知方法も含めて検討してほしい。